



学校だより/姫川原小

HP <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/himega-s/>

10月

10月4日学習発表会 全校算数のよさを説明している様子から



「子どもに付けたい力」

教育現場では学力向上が叫ばれている。昔は、読み、書き、そろばんと一般的に言われ、非常に具体的だった。今や学力の三要素は、時代の流れと共に、子どもたちに求める力が変わってきた。

子どもの頃、私の母は手に職を付けなさいとよく言ったものだ。教科書を墨で塗りつぶして育った母には、生きること直結する職業能力を意味していたのだろう。自分の子どもの頃の遊びを思い起こせば、切符をカチッと切りたくて、バスの車掌さんごっこをしたことがあった。遊びの中に必ず職業模倣体験が入っていた。あこがれをもって遊んだ車掌さんは、バスからいつしか消え、ワンマンカーの時代となっていた。当たり前のようにあった職業はこれからも消え、新たな職業が生まれていく。

そんな将来を生き抜く子どもたちに付けたい力とは、何かと考えたとき、七転八起の精神がある。困ったことがあったら、へこたれないうで起き上がって欲しい強さだ。なにくそと思う気持ちがバネになる。当校で行っている学び合いだが、学習材を介して、困ったときにどうするかを問うている。分からない勉強を一人で困っていないで、何とかしようとして動き出すことに意義がある。学校という集団の力を活用した学び合いだ。先日初めて授業中に解決できなかった問題が悔しくて家で挑戦した子どもが出てきたとのうれしい報告を聞いた。ロシアの心理学者ヴィゴツキーは、「みんなと一緒にだと、一人でするより、できることが広範囲に及ぶ。」と言っている。過保護になりすぎず、みんなと学ぶ効果を最大限に引き出したい。

では、今の学力の三要素？それは、「知識・理解」「思考・判断・表現力」「学習意欲」である。まずはベースとなる学習意欲を、学び合いを通して育てていきたい。

地域に全国に発信 姫小学びの姿を

異学年間で課題解決「全校算数」を公開

十月四日(土)学習発表会が開かれました。午前は、これまでの文化祭と違い、学習する姿を公開、午後からは、閉校記念事業の一環として、コミュニティ主催で、自衛隊音楽隊の演奏会を開きました。大勢の皆様方からお集まりいただき有り難うございました。地域の皆様は、従来の子どもの音楽発表や、生活科や総合的な学習の学習成果発表を期待して来られた方も多かったと思います。その姿は、一ヶ月後の閉校記念式典で、お披露目する計画です。

当校では、昨年から週に一度、全校が図書室に集まり、一堂に学ぶ「全校算数」を進めています。上教大の西川教授の推奨する「学び合い」という学習理念に基づくものです。その「学び合い」の研究を兼ね、学習発表の形にしました。北は青森、南は福岡、四国は愛媛からと、百十名の教師や学生らが集まりました。当日は、参観者に異学年との関わり合いを見やすくするために、子どもたちはカラーのビブスゼッケンを身に付けました。

自分が分かることが第一ですが、全員が力を合わせて、今日の課題を達成することも大切なめあてなのです。高学年は、自分の課題を後にしても、低学年の質問に先にこたえてから取り組む姿が見られるようになってきました。三年生は、授業開始時にはバラバラに座っていたのが、いつしか一つのテーブルに集まり、難問にまずは自分らの力で挑戦しようと立ち向かっていきました。最後に六年生が登場しましたが、あえなく時間切れ。悔し涙を見せるなど、参観者を気にせず、いつしか普段通りの自分を発揮していた子どもたちでした。

体育館の壁面には、二学期を中心に描いた子どもたちの絵画作品を展示しました。三年生のごどうの栽培活動や、四年生の高床山探検など、体験活動をベースに思い出を表現。高学年は、閉校する校舎に思いをこめ、思い出の場所を丁寧に描き上げました。

PTA地域作品コーナーでは、これまでの姫小の活動を支えて下さった後援会長さんの長年にわたる貴重な記録展示が圧巻でした。壮年の展示は、141年の歴史を写真でデザイン化した立派な力作の山車を。鳥坂城址保存会の皆さんは、鳥坂山の鳥瞰図の特別展示を。等高線を忠実に切りとり段ボールを重ねて作った根気強さ。歴史を強く感じさせる数々の展示が素晴らしいものでした。

子どもたちの力で解決していくことを主眼としていきます。待っている時間はありません。解決のためにどうすべきか自分で考え動くことも大切な要素です。子ども自身が考えたり、友達の説明を聞いたり、子どもの活動時間は、普段の授業の何倍もあります。



最後に、参会したお客様に「ありがとう」の気持ちを込め、校歌を歌いました。一生懸命歌う子どもたちの姿から、姫小が大好きな気持ちが伝わり、学習も歌も自信に満ち溢れていたという感想をいただきました。



姫小の思い出描いた58人の絵画作品



午前の最後は、子どもたちが自分から全校算数の好きなところを参観者に説明を進めていく場面です。自己紹介から始まり、説明後、質問にも答えていきます。最後は握手をしてありがとうの気持ちを示します。お土産にひまわりの種を包装し、プレゼントを用意していた2年生に参観者も思わずにっこり!





陸上関係の入賞者紹介

■妙高市親善陸上大会 9/18

6年女子ソフトボール投げ	7位
6年男子100m	3位
6年男子 "	4位
5年男子 "	4位
5年男子 "	8位
6年男子80mH	4位
6年男子1500m	7位
6年男子4×100mリレー	4位
6年女子 "	8位
5年女子 "	8位



■第10回 妙高市児童・生徒科学研究発表会が7日に開かれました。学校代表の6年生は「紫外線は防げるの?」4年生は、「どうめい卵の実験」というテーマでした。夏休みの自由研究課題を頑張った成果が、姉妹での記念すべき発表となりました。



市陸前の9/13に自由参加の妙高市陸上記録会があり大勢挑戦しました。

2年女子50m	出場
4年女子80m	出場
4年男子80m	出場
5・6年女子100m	出場
5・6年女子800m	出場
5・6年女子リレーA	1組 出場
5・6年女子リレーB	1組 出場
5・6年男子リレーA	1組 出場
5・6年男子リレーB	2組 出場